

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	133	1年	後期	看護学科	必修	英語Ⅱ English II	30	1
担当教員								
尾上 智子								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
○	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
○	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
○	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
本授業の目的は次の3つである。								
①身近なトピックに関する映像教材を用いて、英語の「読む」「書く」「聴く」「話す」能力をバランス良く向上させること。								
②「アウトプット」の活動を重点的に行うことにより、自身の考えや意見を英語で積極的に発信しようとする態度を養うこと。								
③教材やグループ・ディスカッション等を通じて自他の文化に対する理解を深めるとともに、他者の視点から見える世界に関心を寄せる態度を養成すること。なお、第9回の講義では、愛媛県内の外国人住民の方のお話を聞いて、多文化共生社会におけるコミュニケーションとはどうあるべきか議論する。								
到達目標（授業目標）								
①辞書を活用しながら自分の考えや意見を英語で書いたり、他者に伝えたりすることができる。								
②身近なトピックに関する基本的な英語の語彙や表現が身に付いている。								
③日本の文化や身近なトピックについて他者と意見を交わし、多様な視点に関心を持つことができる。								
④授業で紹介する効果的な英語学習方法や教材、情報等を活用しながら、授業外において主体的かつ継続的に英語の学習に取り組む意欲を持つことができる。								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	Introduction / Unit 1 : How is this class organized? / Giving Directions and Helping 授業の進め方/道案内で使える英語表現							
2回	Unit 2 : Talking about Yourself 自己紹介で使える英語表現							
3回	Unit 3 : Host Family 留学生などを迎える時に使える英語表現							
4回	Unit 4 : Commuting by Train 電車の乗り換え説明に使える英語表現							

5回	Unit 5 : Taking Classes 物事の描写に使える英語表現 (1)							
6回	Unit 6 : Talking with a Teacher 褒める時に使える英語表現							
7回	Unit 7 : Finding Friends 自分の趣味や好みを伝える英語表現							
8回	Unit 8 : Potluck パーティーなどの集まりで使える英語表現							
9回	多文化共生社会におけるコミュニケーション：在日外国人のゲストの講演とワーク (講演は教育協力者に依頼)							
10回	Unit 10 : Four Seasons 好きな季節の説明に使える英語表現							
11回	Unit 11 : Green Tea 物事の描写に使える英語表現 (3)							
12回	Unit 12 : Japanese Food 料理の説明に使える英語表現							
13回	Unit 13 : Part-Time Jobs アルバイト先で使える英語表現							
14回	Unit 14 : Shopping at a Clothing Shop 買い物で使える英語表現							
15回	Unit 15 : Asakusa オススメの場所を紹介する英語表現							
16回								
17回								
18回								
19回								
20回								
21回								
22回								
23回								
24回								
25回								
26回								
27回								
28回								
29回								
30回								
成績評価方法及び基準								
課題・小テストへの取り組み (50%)、定期試験 (50%)。トータル60点以上を合格とする。								
教科書	Akira Tajino, et al. 「WELCOME TO NIPPON! Building International Friendships -REVISED EDITION」 (Asahi Press)							
参考図書等	適宜、紹介します。							
授業時間外の学習について (授業準備のための指示)								
テキストの指定された箇所に関する課題への取り組みや、小テストに向けた事前学習が必要になります。								
関連科目								
前科目	132 英語 I	134 英会話 I						
後科目	103 国際文化コミュニ							
実務家教員								
備考	毎回、必ず英和辞典を持参してください。							